

BRAVE!! G-rule (グラップリングルール)

【階級】 対戦相手は申請時の通常体重、経験を元に組み合わせる。

※計量時の体重差が6kg以上あった場合は*エクストラ (EX) ルールを採用する。

※上記エクストラルールは両選手の同意があれば通常ルールで行う場合がある。

【試合時間】 通常 3分2R インターバル1分 ※大会の全試合数が40試合以上の場合、インターバルは30秒とする。

【服装】 上半身は裸か、伸縮性のあるシャツ (ラッシュガード等)、下は*スパッツかショートパンツ。

・シューズの着用は禁止する。イヤガード・サポーター・テーピング以外の着用は禁止する。

・パンツが自コーナーのカラーでない場合、相手コーナーのカラーでない物か、赤・青系統以外の物を着用する。

※自コーナーのカラーでない着衣を使用する選手は、主催者が用意したコーナーカラーテープを手首に巻く。

※着衣はいずれも金具、ポケットなどが無いもので、破れ・ほつれの無い清潔な物に限る。

【勝敗】

①関節技・絞め技による一本 (関節技や絞め技が完全に入った場合、レフェリーの判断で止める場合がある。)

②レフェリーストップ (負傷等により続行不可能とレフェリーまたは主催者が判断した場合も含む。)

③ポイント判定… 一本が無かった場合、キャッチ (2ポイント差以上) と減点を合計して勝敗を決する。

・キャッチポイントが2ポイント差以上無かった場合はジャッジ判定とする。

・*EXルールにおいてポイントで引き分けの場合は体重の軽い側の選手の優勢勝ちとする。

【例1】 A選手CP2・TP2 vs B選手CP1・TP4 =ジャッジ判定

【例2】 A選手CP3・TPO vs B選手CP1・TPO =A選手勝利

【例3】 A選手CPO・TPO vs B選手CPO・TP4 =ジャッジ判定

④反則 (悪質な反則の場合や、軽微な反則でも繰り返し行った場合は反則負けを宣告する。※はじめは口頭注意。)

【ポイントについて】

■■■キャッチポイント (CP) … 1ポイント ■■■ 関節技・絞め技などが完全に入った状態

■テクニカルポイント (TP) … 1ポイント ■ CPの補助ポイントであり、TPのみでは直接勝敗に関係しない

⇒テイクダウン、マウント、バック、スウィープ、パスガード等いずれも3秒以上有利な体勢を維持した場合等。

⇒テクニカルポイント5でキャッチポイント1に相当する

・キャッチポイントはレフェリーのみが決定する

・ジャッジはレフェリーがコールしたキャッチポイントと、自らが決定したテクニカルポイントをジャッジペーパーに記入する

・キャッチポイントは2ラウンドを合計するが、テクニカルポイントはラウンド毎にリセットされる

※レフェリーの決定したキャッチポイントは、ジャッジの過半数の同意があれば無効にできる

【*エクストラルールについて】

・互いの体重差が6.0kg以上ある場合はエクストラ (EX) ルールを採用する。

・キャッチポイント・減点のみで判定され、合計が2点差未満の場合は体重が軽い側の選手の勝ちとする。

【例1】 A選手 (65kg) CPO・TPO vs B選手 (73kg) CP2・減点1 =A選手勝利

※6.0kg以上の体重差があっても、両選手の合意があれば通常ルールで行うことができる。

【減点・反則・禁止事項】

・3秒間以上のクロスガード。膠着を誘発する行為。

・あらゆる打撃攻撃。相手の毛髪を掴む行為。目・耳・鼻・指・首など体の一部を押さえる、掴む (極める) 行為。

・金的、目潰しなどマナーに反する行為。着衣を掴む、引っ張る行為。また、着衣を使つての攻撃。

・相手を持ち上げて、故意に背中から落とす行為 (バスター)。相手を頭頂部から落とす投げ技。

・故意にロープやコーナーマットに触れる行為。場外へ逃げる行為及び相手を場外へ出す行為。消極的及び膠着を誘発する行為。

※軽微な反則等の場合、コーション (注意) が与えられ、2回目以降は減点対象となる。

※悪質な反則や、軽微な反則でも繰り返し行った場合は1~3点の減点及び反則負けの対象となる。

【セコンドについて】

・セコンドは3名までとし、インターバル中にリング内に上げられる (選手に触れる) のは1名のみとする。

・セコンドは試合中、選手、レフェリー及びロープに触れてはならない。

・相手を侮辱するような言動、暴言や進行の妨げとなるような行為は、選手の減点対象となる。

【その他】

・レフェリーにストップ・ドントムーブを告げられたら、互いに攻防を止め、その状態のまま静止する。

・ギブアップはレフェリーに口頭で告げるか、相手の体もしくはマットを2回以上手か足の裏で叩いて表示する。

・ロープ際など続行困難な場所ではレフェリー判断によりドントムーブか中央でのスタンド状態から再開される。

N.M.F 東北格闘技連合会

2006年7月20日制定 2010年12月1日改定